

平岡地区景観まちづくりワークショップ②

「里あるきの様子」

景観について知るために実際に歩いてみることが大切、ということで2回にわたって、「里あるき」を行いました。景観という切り口で改めて歩いてみると、実はさまざまな資源が平岡地区に眠っていることがわかりました。第1回は川原井版をご覧いただくとして、今年の2月7日に行った第2回の様子をご紹介します。

平成21年2月7日 第2回里あるき

平岡公民館を出発して、外気塚と野里神社に行き、あとは永地コースを中心に行きました。

●公民館～外気塚



平岡公民館。ワークショップの会場で、里あるきのスタート地点でもあります。



●野里神社へ



外気塚から平地になると、台地の斜面に沿って住宅が続きます。早春の花、ロウバイが咲いていました。



このあたりは水が豊富。いたるところにきれいな水をくみ上げるポンプがありました。



平岡地区でも指折りの神社。「野里神社」扁額には「塙里神社」とありました。



ちょっと愛嬌のある狛犬。



外気塚近くの竹林。けっこううっとうとしています。



「外気塚」水争いで亡くなった人を供養する塔が立っています。もともとここにも竹がありましたが、すっかりきれいになっています。



外気塚の周りにはタブノキやケヤキなどの巨木がありました。



●永地地区…諏訪神社、灌泉寺



県指定有形文化財
「諏訪神社本殿」
スダジイの木立に囲まれ、松川を見守るように建てられています。



市指定文化財
「永地銅造地蔵菩薩坐像」
諏訪神社に隣接しています。



灌泉寺の裏山からは遠くのぞみ野の住宅地が望めます。
のぞみ野からご参加の方は「あたしの家見えるかしら」



●上泉地区



「常福寺」カヤの大木がありました。悠久の時を感じさせます。



周囲には広大な畑が広がります。



ちょっと途中で地図を確認



●永地地区…諏訪神社、灌泉寺



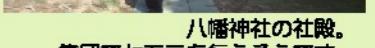
「八幡神社」小高い丘の上にあるので…



石段を登るのが大変です。



ここにも立派なスダジイの大木が



八幡神社の社殿。集団で七五三を行うそうです。

社殿の彫刻をよく見てみると、昔の軍艦が彫られていきました。